

三三三四番

やすみしし わご大君^{おほきみ} 高照^{たかて}らす 日の皇子^{ひみこ}の
 聞こし食^をす 御食^{みけ}つ国^{くに} 神風^{かむかぜ}の 伊勢^{いせ}の国^{くに}は 国^{くに}
 見^みればしも 山^{やま}見^みれば 高く^{たか}貴^{たふと}し 川^{かは}見^みれば さ
 やけく清^{きよ}し 湊^{みなと}なす 海^{うみ}も広^{ひろ}し 見^み渡^{わた}す 島^{しま}も
 名高^{なたか}し ここをしも まぐはしみかも かけまく
 も あやに恐^{かしこ}き 山^{やま}辺^への 五十師^{いし}の原^{はら}に うちひ
 さす 大宮^{おほみやつか}仕^{つか}へ 朝日^{あさひ}なす まぐはしも 夕日^{ゆふひ}な
 す うらぐはしも 春山^{はるやま}の しなひ榮^{さか}えて 秋山^{あきやま}
 の 色^{いろ}なつかしき ももしきの 大宮^{おほみやひと}人は 天地^{あめつち}
 と 日月^{ひつき}と共^{とも}に 万代^{よろづよ}にもが

反歌^{はんか}

三三三五番

山^{やま}辺^への 五十師^{いし}のみ井^ゐは おのづから 成^なれる錦^{にしき}
 を 張^はれる山^{やま}かも